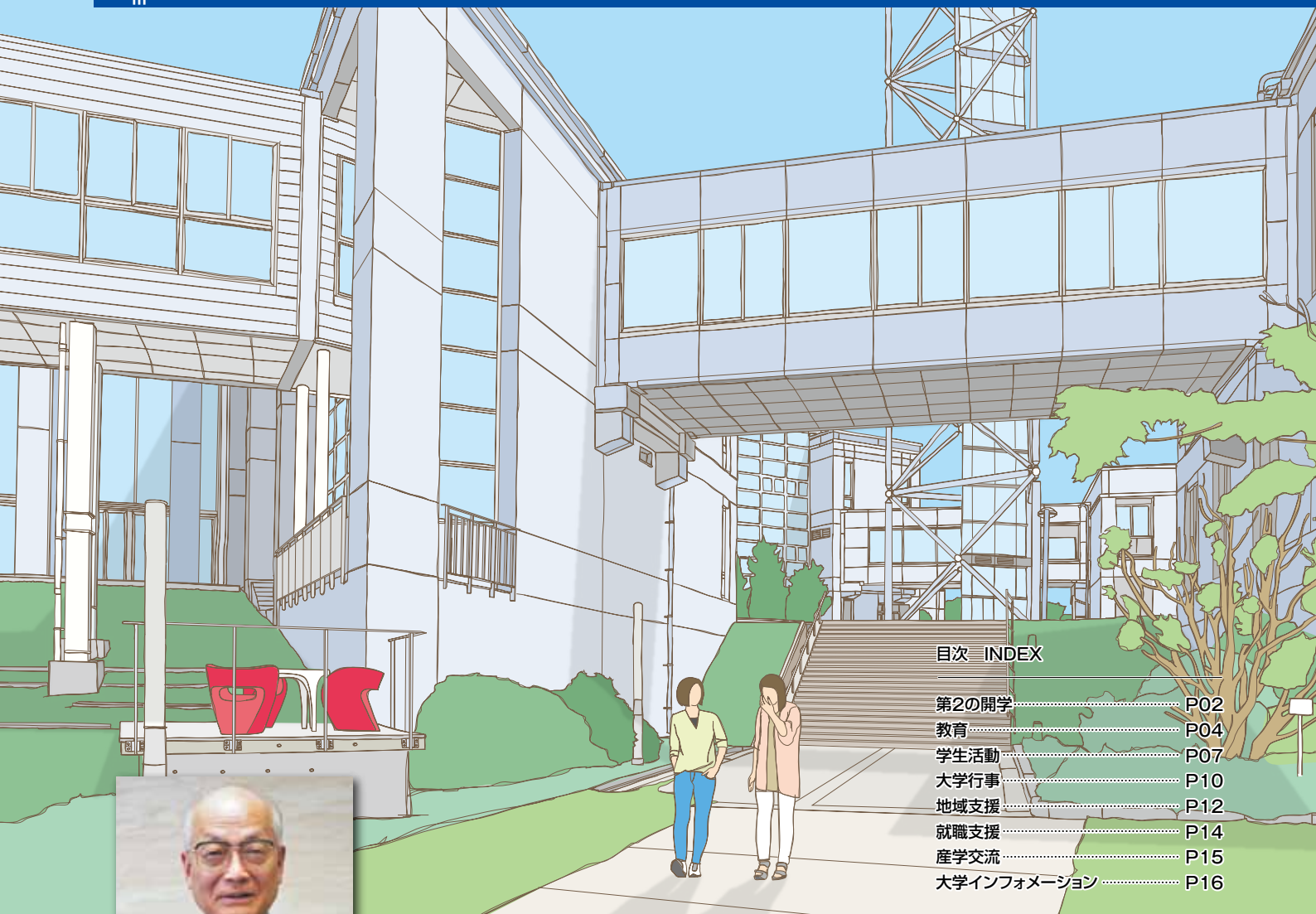




新潟工科大学 平成27年度活動記録



目次 INDEX

第2の開学	P02
教育	P04
学生活動	P07
大学行事	P10
地域支援	P12
就職支援	P14
産学交流	P15
大学インフォメーション	P16



工学科の初年度を振り返って

学長 長谷川 彰

本学は平成27年度、総合性を重視した理念に基づき、従来の4学科制から新しい工学科1学科制へと転換するとともに、教育課程を現代にふさわしいものに再構築するという抜本的な教育改革を実行いたしました。

工学科1期生はこの1年間、特定の分野に偏らない基礎的な科目を学びましたが、今年4月には2年次に進級することに伴い、3つの学系プログラムの中から選択して学ぶ段階へと進みます。

学系プログラムでは、新しいICT機器を活用した実験科目を提供するなど魅力アップに努め、学生たちに

は積極的に取り組んでもらえるものと期待しています。

また、開学20周年記念事業として、附属図書館、教育センター、学生食堂、学務系事務室の改修など、学修環境の整備も行いました。その結果はおおむね好評ですが、今後とも利用者の意見を聞きながら、さらなる改善に努めていきたいと思ひます。

既存4学科については、すべての在学生在が卒業するまで存続させることとしております。工学科の学生のみならず、本学のすべての学生がリニューアルされた学修環境を存分に活用し、伸び伸びと学び、大きく成長していただきたいと願っております。



第 2

◆工学科スタート

平成27年4月、これまでの4学科を改組した「工学科」に、第1期生が入学しました。“深い学び”から“広い学び”まで、自分の興味や適性に合わせて学ぶことができる3学系8コース制により、学生の希望をかなえるフレキシブルなカリキュラムとなっています。

1期生たちは、工学の実験ルールや諸原理を学ぶ「工学基礎実験」や、ものづくりの意欲と創造性を高めるための「工学ゼミ」などを通じて工学の基礎を学び、2年次からの学系プログラム、3年次からのコースプログラムで専門性を身につけていきます。



入学式（4月3日）

工 学 科	2年次 [3学系]	3・4年次 [8コース]
	機械・ 素材科学系	先進製造コース シミュレーションコース 化学バイオコース
	知能機械・ 情報通信学系	ロボティクスコース 情報通信コース 医療福祉工学コース
	建築・ 都市環境学系	建築コース 都市環境エネルギーコース

■1年次の授業（工学基礎実験）



身の回りの放射線の観察



ソーラーカーの作製とパネルの特性



単振り子の周期



加速度と力



の 開 学

新潟工科大学は、平成26年度の創立20周年を「第2の開学」と位置づけ、さまざまな改革を行いました。これからも将来を見据えた大学づくりに取り組むとともに、教育、研究、地域支援を通じた「学びの場」を提供していきます。

◆ 施設リニューアル

■ 学生食堂

学生のアイデアを取り入れ、テーブルとイスを入れ替えたほか、個室ブースも設けました。また、全面的にメニューを一新しました。

■ 附属図書館

2階は出入口を追加し、閲覧スペースを可動式のテーブルとイスに一新、会話しながら学習できる、アクティブラーニングエリアを設けました。3階はクワイエットエリアとして、集中して学習できる環境を整えました。

■ 教育センター、事務室

学生の動線を考慮して、教育センターを学生食堂と図書館の間に、学生の窓口となる事務室を講義室の近くに移設し、学生サービスの向上を図りました。



学生食堂



附属図書館



教育センター



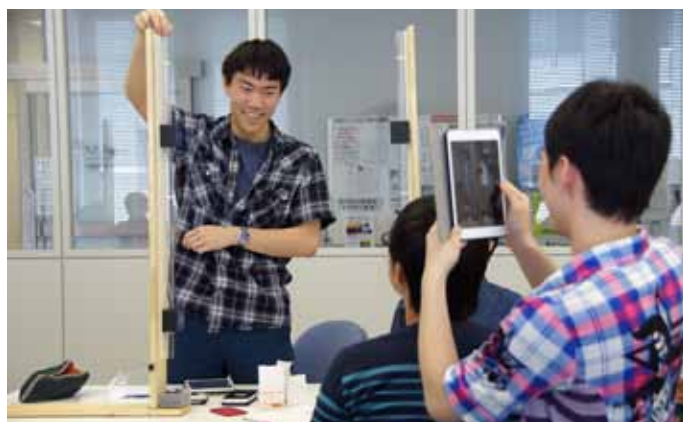
学生窓口（事務室）

Future

教育

1 タブレット端末の活用

県内大学では初の試みとして、全学生にタブレット端末を無償で配付。授業の資料配信・提出、課題制作、さらには電子教科書としても活用しています。さらには、学生、教員間のコミュニケーションツールとしても使用していきます。



2 ICT環境を充実

タブレット端末を快適に活用するため、無線LAN環境を増強しました。本学では、すべての講義室に電子黒板とプロジェクタを設置しており、これらの機器とタブレット端末をリンクさせた授業展開を進めていきます。また、高度シミュレーション実習室では、高度な解析が可能なワークステーションを設置、シミュレーションの初歩から卒業研究での解析などに使用されています。

今後は動画配信システムで実験手順を配信するほか、リメディアル教育を補完するeラーニングシステムなどの導入を計画しています。



高度シミュレーション実習室



電子黒板

3 学修の可視化システムの開発

■ 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」

(Acceleration Program for University Education Rebuilding : AP 事業)

平成26年度に新設された事業で、大学教育改革の先進的な取組を国が重点的に支援し、改革を加速させるプログラム。全国254の大学・短大等が申請し、本学を含む47校が採択されました。

この事業では、学生たちが日々成果を生み出し、そしてその実感を得ながら学びの改善ループを完遂させる「学修成果の可視化」を設計します。さらに、ディプロマポリシーに基づいた有機的な授業体系とすべく、教員らによる教学マネジメントの改善ループも運動させます。

本学では、平成27年度までにシステムの内容を検討し、同28年度から運用を開始。同30年度までに事業を検証することを目指しています。

①「振り返り」を重視する

例えば、新入生の前期必修科目「工学ゼミⅠ」の課題である「卵落とし」では、3mの高さから卵を落下させても割れない紙パッケージングを、学生一人ひとりが考案して工作します。そして「ルーブリック評価」による厳密な成績評価を実施。割れたのか割れないのか、構造は、工作技術は、と多様な軸で客観的に評価することは、「学修の可視化」の第一歩となります。多くの科目で同様の取組を導入していきます。



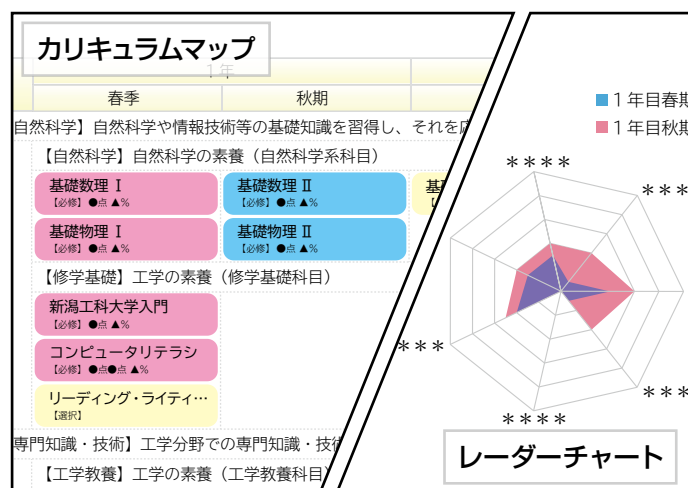
卵落とし

A	B	C	D
落下させた卵が割れなかった。さらに、衝撃を緩衝させるための仕組みが良好で、構造が良好、もしくは、工作精度が著しく高かった。(22点)	落下させた卵は割れたが、衝撃を緩衝させるための仕組みが良好であったり、工作において精度や丁寧さが認められた。もしくは、落下させた卵が割れなかったが、工作における精度や丁寧さに乏しかった。(19点)	作品を完成させた。ただし、美しさと実用性が共に乏しかった。(16点)	期限内に作品を完成できなかった。(0点)

ルーブリック評価表

②「成長」を意識する

「カリキュラムマップ」は、本学の学修の可視化システムの根幹をなすものです。履修登録、課題の振り返り、成績評価を知る、というあらゆるステージで、ディプロマポリシーごとに整理された授業体系がweb上に提示されます。自身の到達度は、レーダーチャートなどの指標によってビジュアルに情報提供されるため、次の学期に取り組むべき課題の把握と戦略づくりに欠かすことができないツールとなります。



③「社会」の求めを知る

改善ループをより強固にするため、企業目線を加えます。2月の「対話型企業技術・要素会」、3月の「学内合同会社説明会」には2、3年次生の大部分が参加し、社会人としての意識を目覚めさせます。また、企業から本学の教育への期待をアンケート形式で受け止めました。

一方、教員は授業改善のための研修を頻繁に実施し、その成果を授業科目の成績評価に取り入れています。



4 職業実習

職業実習（インターンシップ）は3年次の選択科目で、産学交流会などの多くの企業の協力のもとに実施しています。平成27年度は8月17日（月）～28日（金）（企業により異なる）の2週間で実施し、84人が56の企業や公共機関に出向きました。履修率は7割を超え、ここ数年では最高の結果となりました。

10月7日（水）には「職業実習報告会」を行い、履修者全員が実習成果を発表しました。

一方、2月15日（月）～29日（月）の2週間、本学では初めてとなる海外実習を、ウエカツ工業株式会社マレーシア工場で行いました。本格導入に向け試行的に実施したもので、3年次生2人がハードディスク用アルミ基板の製造などを体験しました。



（株）コロナでの実習

5 学内企業実習（工学プロジェクト）

企業へ出向くインターンシップと違い、学内において企業から与えられた課題に学年、学科混在のグループで取り組み、検討結果のプレゼンまで行います。実習は数度の事前指導を経て9月10日（水）に行われ、77人が12チームに分かれて3つの課題に挑みました。

No.	企業名	課題
1	山勝電子工業株式会社	生産工程等において納期遅延等を発生させないルール作り
2	株式会社創風システム	ソフトウェア製品の市場拡大戦略
3	一正蒲鉾株式会社	トレー盛り商品を美しく見せる



一正蒲鉾（株）の実習

6 課題解決型学習（PBL実習）

地域や教員の課題に対して学生がチームを組み、主体的・実践的に課題解決を目指します。5テーマに36人が取り組み、2月23日（火）に成果発表会を行いました。

No.	課題
1	生体情報モニタリングのための電子回路プリント基板作成と Android アプリケーション開発
2	可搬型レジャーテーブルの作成
3	コード理論に基づくオリジナル 30 秒楽曲の制作
4	ICT を活用したビジネスプランの立案
5	こどもパソコン IchigoJam を利用したプログラミング学習教材の開発



成果発表会（2月23日）

7 企業人による講演（産業と大学）

企業の経営者や技術者、自治体管理職などから、創業の経緯、社会的役割、技術的な特色等に関して講演いただき、自己のキャリア形成に対する意識を高めます。平成27年度も8回の講演を聴講しました。



北越工業（株） 取締役 生産本部開発部長 山後正幸氏の講演（11月11日）

8 ドイツへの海外研修

9月3日（水）～19日（土）までの間、ドイツ・マグデブルグのオットー・フォン・ゲーリケ大学で行われた海外研修に2人の学生が参加しました。

新潟大学が行っている「夏の学校」に本学の学生が参加したもので、滞在中はドイツ語の講義や学内見学、フォルクス・ワーゲンやNTN工場の見学、マグデブルグ、ライプツィヒ、ベルリン市内の観光などを体験しました。



オットー・フォン・ゲーリケ像の前で

学生活動

1 まちかど研究室の活動

柏崎市、新潟産業大学と本学が共同で運営する「まちかど研究室」（通称：まち研）は、市中心部のにぎわいつくりを目指し、両大学の学生が地域の人たちと交流・連携して、まちづくり活動を行う拠点として4年目を迎えました。今年度は活動プロジェクトを公募し、主に以下の取組を行いました。

- 高校生対象「建築模型の制作体験」（7月9日(木)、10日(金)）
- グリーンバードプロジェクト（柏崎チーム：柏崎市内の清掃活動7～10月）
- 小学生対象「3Dプリンタ体験」（8月4日(火)）
- 長研究室×まち研プロジェクト：フリーペーパー「柏崎街なかグルメガイドmeme（ミーム）」発行



建築模型の制作体験



グリーンバードプロジェクト



柏崎街なかグルメガイド meme（ミーム）



3Dプリンタ体験



清掃活動

2 空き家をシェアハウスに改修

建築学科2、3年次生の有志が、空き家となっていた築36年の建物を学生シェアハウスに改修しました。市内の不動産会社社長から、会社の社員寮として使われていた空き物件を有効活用できないかと相談があり、自ら住みたいと志願した2年次生4人が中心となって、学生シェアハウスへとセルフリノベーションする企画を提案しました。その提案が採用され、学生たちは休日や空き時間を利用し、地元の大工から指導を受けながら、天井や床の張替えなどを行いました。

シェアハウスの2階には個室8室を設け、大学の指定アパートとして活用します。1階には、製図などの課題に取り組める広い作業スペースや共有リビングを設け、地域住民との交流も視野に入れています。





灯籠にロウソクを配置

3 環境推進学生会の活動

学生60人で組織される団体で、学内外の環境活動に貢献し、地域との交流を深めることを目的として活動しています。

今年度は竹林整備による竹を活用した竹灯籠づくりに参加、配置などの提案を行いました。

【主な活動】

- 緑のカーテン苗植え、ネットの取付 (5月21日(木))
- ビーチクリーンデー参加 (市内海水浴場、5月30日(土))
- 工科大祭直前クリーン作戦 (6月21日(金))
- たかだ竹あかり～1万本の竹灯籠～にオブジェ提案 (高田コミセン、9月26日(土)、27日(日))
- 植樹会参加 (10月17日(土)、阿賀野市赤松山森林公園)



緑のカーテンプロジェクト



植樹会



4 留学生が中学生と交流

6月25日(木)柏崎市立第一中学校において、同校3年生の「国際理解」の授業に市内に住む外国出身の5人が招かれ、本学からはモンゴル人留学生ガンバータル ニャマジャルガルさんが参加しました。異文化交流を通じて知見を広げることを目的に同校が実施したもので、留学生は風景や民族衣装、食べ物等の写真やモンゴルのゲームを使いながら、日本語で母国の紹介をしました。

5 学生フォーミュラ大会で見事完走

9月1日(火)から5日(土)まで、静岡県小笠山総合運動公園で開催された「第13回全日本学生フォーミュラ大会」(主催:公益社団法人自動車技術会)に全国から90チームが参戦。本学の「NIITフォーミュラ・プロジェクト」は、電気自動車(EV)部門で唯一の完走を果たしました。



6 エコマイレージチャレンジに出場

自動車競技部が、9月19日(土)、20日(日)に栃木県茂木町で行われた「Hondaエコマイレージチャレンジ2015第35回全国大会」に、排気量50cc未満の大学・短大・高専・専門学校クラスで出場しました。全85チーム中30位、走行距離は約440km/ℓでした。



7 音楽イベントのオブジェ制作

9月27日(日)に柏崎市内の17ヶ所を会場として、「第9回音市場」(主催: かしわざき音楽商店街)が開催され、SINMEー新芽一部の学生が老人ホーム「えみふる(東本町)」のオブジェ制作を担当しました。演奏者の周りの波紋オブジェ、入口から演奏会場への誘導用の音符オブジェのほか、観賞用のベンチをすべて段ボールで制作しました。



9 北信越地方 新人合同エスキスTAMAGO展 濱田賞(審査員特別賞)

8月29日(土)、30日(日)に富山大学高岡キャンパスで開催された「第4回北信越地方新人合同エスキスTAMAGO展」において、建築学科2年次生 加藤隆也さんの作品「ギャラリー」が「濱田賞」(審査員特別賞)を受賞しました。



8 学会発表で奨励賞を受賞

10月3日(土)に本学で開催された「電子情報通信学会信越支部大会」において、大学院生産開発工学専攻修士2年次生 池旺行さんが、「信越支部学生奨励賞」を受賞しました。卒業研究から引き続き取り組んでいる、「組込みシステムの制御対象仮想化とその特徴を活かした安全性評価」の研究成果が評価されました。



10 建築新人戦でBEST16に入選

10月3日(土)大阪梅田スカイビルにて開催された「建築新人戦2015」において、建築学科3年次生 片貝真成さんの「まちを縫う」がBEST16に入選しました。今回の受賞作は、柏崎の街にコンテナのような小規模オフィスを縫うように溶け込ませ、賑わいのある街へと転換する、という案です。



11 留学生が懸賞論文で入賞

柏崎中央ロータリークラブの2015年度留学生懸賞論文コンクールにおいて、本学の留学生ツェレンオチル エンプジャルガルさん(写真中央)が「佳作」を、バドバヤル オドフーさん(同右)が「努力賞」を受賞しました。ともに学術交流協定を締結しているモンゴル科学技術大学からの編入学生です。

1月19日(火)には市内のシーユース雷音において表彰式が行われ、表彰状と副賞が授与されました。



大学行事

1 第20回工科大祭

6月20日(土)に「第20回工科大祭」を開催しました。天候にも恵まれ、約2,800人が来場しました。当日は同時開催した「オープンキャンパス」と「青少年のための科学の祭典柏崎刈羽大会」にも多くの来場があり、キャンパスは熱気で溢れていました。



2 新入生オリエンテーション合宿

4月4日(土)～5日(日)、南魚沼市の上越六日町高原ホテルで新入生オリエンテーション合宿を行いました。新入生同士や先輩学生、教職員と親睦を深め、大学生活をスムーズにスタートさせることが目的です。合宿では「グループワーク」「ガイダンス」「何でも相談」「スポーツレクリエーション」などを実施しました。



3 新入生歓迎会

4月8日(水)、新入生は柏崎市市民プラザで行われた新潟産業大学と合同の「新入生歓迎会」に出席しました。市民の有志と両大学の学生がさまざまなアトラクションを企画し、新入生を迎え入れました。終了後は柏崎駅前での商店街スタンプラリーに挑み、商店街の方々と交流しました。



4 まなびや見学会

11月21日(土)、柏崎・刈羽地域の市民や企業関係者に、新しく生まれ変わった本学を知っていただくために開催し、約2,000人が来場する盛況となりました。

〔主なイベント〕

- 研究室開放：教員による模擬実験や研究活動を紹介（全33テーマ）
- iPadを使用したキャンパスライフ体験
- 学生による活動紹介：建築を学ぶ学生の作品展示や学生フォーミュラなどの活動を紹介（全9ブース）
- 学生食堂の特別メニュー（全品100円）



教員による模擬実験



キャンパスツアー



学生食堂

5 女子会

毎年恒例の女子会が、6月4日(木)に学生食堂で行われました。同会は、学科・学年の垣根を越えて、女子学生同士で交流を深めることを目的に3年次生の女子が中心となり企画します。



6 教員保護者交流会

9月5日(土)に行われた後援会総会及び教員保護者交流会には、保護者約200人が出席しました。大学からの近況報告や就職状況の説明のほか、就職内定学生から就活体験談の報告がありました。

学科交流会では個別面談を行い、教員と日頃の修学状況や学生生活、就職活動等について意見交換しました。

また、当日は附属図書館などの施設を開放したほか、軽音楽部やプラスバンド同好会の生演奏、卓球部やバスケットボール部の課外活動見学なども実施しました。



就活体験報告



個別面談



プラスバンド同好会の演奏

地域支援



「ようこそ!もやしもの世界へ」(6月20日)

1 青少年のための科学の祭典

子どもたちに科学の楽しさを体験してもらうためのイベントで、柏崎刈羽大会(主催: 柏崎市教育委員会、本学)は、春と秋の2回行われます。春は6月20日(土)に工科大祭、オープンキャンパスと、秋は11月21日(土)にまなびや見学会と同時開催され、ともに約2,500人が来場する盛況となりました。

また、12月5日(土)、6日(日)にアオーレ長岡で開催された新潟県大会(主催: (公財)日本科学技術振興財団・科学技術館ほか)にも参加、2日間で1万人を超える来場者が訪れました。



大勢の人で賑わう講堂(11月21日)

■ 卒業生とのコラボによる取組

秋の大会で一般開放された学生食堂のメニューのうち、豚汁とビーフカレーに卒業生と教員のコラボで栽培されたニンジンが使用されました。

長岡市小国町で農業を営む本学3期生の細井早苗さん(物質生物システム工学科卒)が小野寺正幸准教授と連携し、学生食堂から出た生ゴミをメタン発酵して出た処理液を追肥として使用。育ちも味も良いニンジンに仕上がったことから商品化しました。細井さんのニンジンは会場でも1袋100円で販売され、多くの人が買い求めていました。



細井早苗さん

2 かしわざき市民大学

柏崎市が主体となって実施している、一般市民を対象とした公開講座で、本学からも講座を開講しています。前期は「生活の質を高める工学技術」と題した機械系の講座を、後期は昨年続き、「シェイクスピア作『ロミオとジュリエット』の意外性」をテーマに、作品の魅力を分かりやすく解説しました。



3 ぎおん柏崎まつり

7月25日(土)、柏崎の夏の風物詩『ぎおん柏崎まつり・たる仁和賀』に参加しました。今回は、学生・教職員60人が威勢よく神輿を担いで、メインストリートを練り歩きました。



4 わくわく科学フェスティバル

8月7日(金)に、科学教育の振興を目的として「第11回わくわく科学フェスティバル」(主催:三条市)が三条市栄体育館において開催されました。本学は「氷と塩を使ってアイスクャンディーを作る」のテーマで出展し、連日の猛暑の中、涼を求めた多くの親子連れが訪れました。



5 みんなの防災フェア

9月26日(土)、27日(日)に「来て、見て、学ぼう! みんなの防災フェア2015」がハイブ長岡において開催され、昨年度に続き機械系のフィールドロボット工学研究室(指導教員:大金一二准教授)が出展しました。「ロボットをタブレット端末で操作する探査活動」を体験してもらう本学のブースには、約800人が訪れました。



6 工業教育フェスタ

9月27日(日)に柏崎工業高校において、未来をつくるスペシャリストの祭典「第10回工業教育フェスタ」が開催され、情報機器応用研究室(指導教員:佐藤栄一教授)が、パネルとPCによって研究内容を紹介しました。会場は、生徒や地域の方々など約800人の人出で賑わいました。



7 高柳町デザイン大賞公開コンペ

柏崎市高柳町をPRする「ゆるキャラ」のデザインコンペ、第3回高柳町デザイン大賞「イメージキャラクターデザインプロジェクト」の公開コンペが1月24日(日)、高柳町じよんのび村で行われ、建築学科2年次生 川上光さんの作品「こーたん」がグランプリを獲得しました。

柏崎信用金庫、同町商工会と本学が連携し、これまでに日本酒ラベル、ショッピングバッグを商品化してきた取組の第3弾で、川上さんは、高柳のきつねの夜祭からキツネをモチーフに、胴体は同町岡田地区の名産であるひょうたんをイメージしました。



8 柏崎に関する研究を発表

2月25日(木)に、平成27年度 新潟工科大学・新潟産業大学 学生による「柏崎に関する研究発表会」(主催:柏崎商工会議所総合建設部会、一般社団法人新潟県建設業協会柏崎支部)が柏崎商工会議所大研修室で行われ、両大学から9組の学生が研究成果を発表しました。



就職支援

1 保護者のための就職説明会

7月11日(土)に「保護者のための就職説明会」を、三条市の燕三条地域産業振興センターで開催しました。昨年度に続き2年目となる本説明会は、就職活動の具体的内容や保護者としての支援方法について知ってもらう機会として開催され、企業からの講演や個別相談などが行われました。



2 就職ガイダンス

3年次生及び大学院1年次生を対象として、7月15日(水)には「マナー講座」を、2月2日(火)～5日(金)の4日間は、就職に関する意識を高める目的で「就活WEEK」と題したガイダンスを開催しました。就活WEEKではSPI模擬試験のほか、履歴書作成や模擬面接などが集中的に行われました。



模擬面接

3 卒業生との懇談会

本学では社会人として働く意義や、実際の仕事と大学での勉強との関わり、就職活動の体験等について在學生と卒業生が懇談します。今後のキャリアを考えることを目的に毎年開催し、今回は9月から11月にかけて、学科ごとに行われました。



情報電子工学科

4 対話型企業技術・要素会

1月13日(水)本学講堂において、「対話型企業技術・要素会」を開催しました。県内企業を中心に40社に参加いただき、自社製品やパネル等を用いて、得意とする技術や社員として求められるスキル等を説明いただきました。学生はヒアリングした企業が求める能力と自己評価した現在の能力を比較し、学修計画を改善します。



5 学内合同会社説明会

3月8日(火)、9日(水)、本学講堂で平成29年3月卒業・修了予定学生を対象とした「学内合同会社説明会」を開催しました。新潟県内を中心に北陸や関東など、2日間で167社から参加いただきました。



産学交流

1 地域別産学交流会

産学連携による共同研究などを目的に、研究紹介や企業見学など各地域でさまざまなイベントを開催しています。今回は10月9日(金)に村上市、12月7日(月)に上越市で開催しました。



村上地域産学交流会



柏崎・上越産業界との懇談会



(株)丸互の見学

2 研究室見学会

地域産学交流センターでは、10月8日(木)に企業や研究機関を対象とした研究室見学会を開催しました。研究シーズや研究設備について認識いただき、委託研究や共同研究など産学連携につなげることを目的としています。



生物化学工学研究室



建築地震防災研究室



3 先進企業見学会

地域産学交流センターでは、新潟工科大学産学交流会会員企業を対象として、新規事業参入のきっかけ作りや相互の交流促進を目的に、先進企業見学会を毎年実施しています。今回は10月22日(木)～23日(金)に、総勢16人で「日栄インテック株式会社」(千葉県印西市)と「株式会社不二製作所」(東京都江戸川区)を訪問しました。



日栄インテック(株)



(株)不二製作所

4 燕三条ものづくりメッセとシミュレーション技術体験セミナー

10月29日(木)～30日(金)に、燕三条地場産業振興センターで開催された「燕三条ものづくりメッセ2015」へ出展し、「シミュレーション技術体験セミナー」を実施しました。ものづくりメッセでは4研究室のパネル展示を行いました。また、本学主催のシミュレーション技術体験セミナーでは、笹川圭右助教が高性能なノートパソコンと3Dスキャナーを活用した実習を行いました。



平成27年度の主な採択事業

- 原子力規制庁
原子力施設等防災対策等委託費

「安全性向上評価に向けた経年変化を考慮した配管の耐震性評価手法の高度化に係る調査・研究」

〔担当教員〕 田村良一 教授、山崎泰広 教授
〔期 間〕 平成28年3月25日まで
〔事業費〕 6,480万円

- 国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
戦略的省エネルギー技術革新プログラム調査事業

省エネルギー技術開発事業の重要技術に係る周辺技術・関連課題の検討
「超微粒子溶射の実用化開発に向けた技術戦略策定のための調査」

〔中核機関〕 東北大学
〔期 間〕 平成28年3月18日まで
〔担当教員〕 山崎泰広 教授
〔事業費〕 124万円

山崎泰広教授が2つの賞を受賞

- ▶ 日本材料試験技術協会
第28回 協会賞

協会誌「材料試験技術」に発表された材料試験技術上の優れた学術的もしくは技術的研究に授与されます。

○論文タイトル 「硬質薄膜の密着強度評価法の検討」

- ▶ 公益社団法人日本材料学会高温強度部門委員会
第26回 貢献賞

ガスタービン材料であるニッケル基超合金及びそのコーティング部材の高温強度に関する研究業績、講習会や国際・国内シンポジウムの開催に尽力したことが認められ、授与されました。



YouTubeで各種動画を公開しています

新潟工科大学の公式YouTubeページでは、これまでテレビで放送された番組やCMなどを公開しています。大学ホームページからもリンクしていますので、ぜひご覧ください。



新潟工科大学NEXT

平成27年5月から翌年1月まで10回にわたり、新潟テレビ21（UX）で放送された大学紹介番組。



CMギャラリー

平成26年度以降のテレビCMコレクション。



ショートムービー

キャンパスライフ、学び紹介篇、改組概略篇からなる大学紹介映像。

